

# 建設公安委員会県内行政視察概要

平成30年4月18日(水)～19日(木)

## 【4月18日(水)】

- ① 新潟駅(新潟駅周辺整備事務所) 10:32～11:25
- ② 三条地域振興局地域整備部 13:00～14:00
- ③ 万内川砂防えん堤群 15:50～16:45

## 【4月19日(木)】

- ④ 国道253号上越三和道路 8:40～9:50

### ① 新潟駅(新潟駅周辺整備事務所) (新潟市中央区)

〔視察テーマ〕 ○新潟駅高架駅第一期開業について  
○現地視察

#### ■ 新潟駅周辺整備事業・同一ホーム乗換事業について

新潟駅周辺整備事業は、平成4年度、新潟県と新潟市の共同事業としての調査から始まった。平成10年度には新潟駅周辺整備基本構想が公表され、その後、まちづくり懇談会やシンポジウムなど、気運醸成に向けた取組が進められた。新しい駅前広場や駅舎の計画はコンペで募集され、選ばれた案が設計のベースとなった。平成17年度には、新潟駅周辺整備計画の都市計画決定がなされ、平成18年度の認可をもって事業がスタートした。なお、新潟市が政令指定都市に移行したことにより、平成19年度、事業主体が新潟市へ移管されている。

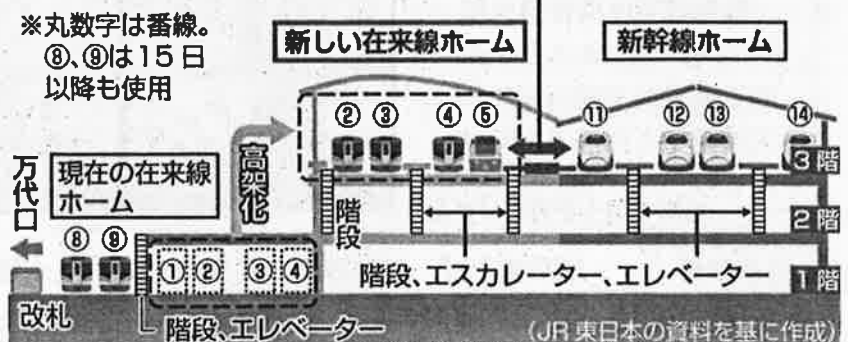
本事業は、大きく分けて①連続立体交差事業 ②幹線道路整備事業 ③駅前広場整備事業の3つから成る。駅前広場を含む全ての整備完了は2023年度ごろの予定となっている。

なお、連続立体交差事業とは別の事業として、新幹線・在来線同一ホーム乗換事業が併せて行われることになった。連続

立体交差事業が都市計画決定された平成17年度に、新潟県・新潟市・JR東日本で協議が持たれたうえ、急ぎ計画が詰められ、平成19年度に連続立体交差化の工期に影響しない軽微な都市計画変更の扱いで認可された。

#### 新潟駅の在来線高架化イメージ(断面図)

##### 新幹線と在来線が同じホームで乗り換え可能に

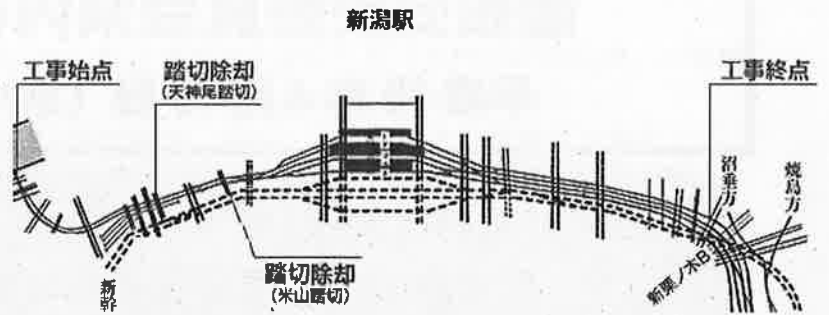


#### ■ 連続立体交差事業(在来線の高架化)について

連続立体交差化は、新潟駅を挟む約2.5キロメートルが対象区間となっている。越後線側で2か所の踏切が除去され、交差道路4本が整備されるとともに、新潟駅部分については、高架下を貫通し、南口と万代口を結ぶ交通広場が設置される。これにより、新潟駅付近の渋滞混雑の緩和と、鉄道により隔てられていた南北の地域の一体化を図ることができる見込み。バスの通行体系

も大きく変化することになる。

このたび、在来線4線の高架化が完了し、平成30年4月15日には、第一期開業を迎えた。今後は、高架の1番線を建設する工事と、地上に残る8・9番線の仮線を撤去する工事などが進められ、2021年度には、全面的な高架開業を迎える予定となっている。



上図：JR東日本・東京電気システム開発工事事務所HPより（一部加工）

## ② 三条地域振興局地域整備部（三条市）

〔視察テーマ〕 ○五十嵐川災害復旧助成事業の竣工について  
○現地視察（遊水地）

### ■ 五十嵐川災害復旧助成事業について

対象河川名：一級河川 五十嵐川、一級河川 鹿熊川、一級河川 笠堀川  
流域市町村：三条市  
事業費：約370億円  
工事内容：①河道改修、②遊水地整備、③笠堀ダム嵩上げ（総延長約31.9キロメートル）

平成23年7月27日から30日にかけて、新潟県と福島県会津を中心に大雨となり、死者・行方不明者が出たほか、各地で堤防の決壊や河川の氾濫による住家や道路の被害も多数発生した（平成23年7月新潟・福島豪雨）。再度の災害を防止するため、このときの発生雨量程度の水量を計画高水位以下で安全に流下させることができるよう、県は平成24年度から五十嵐川災害復旧助成事業に着手し、平成29年度に竣工した。

#### 災害復旧助成事業

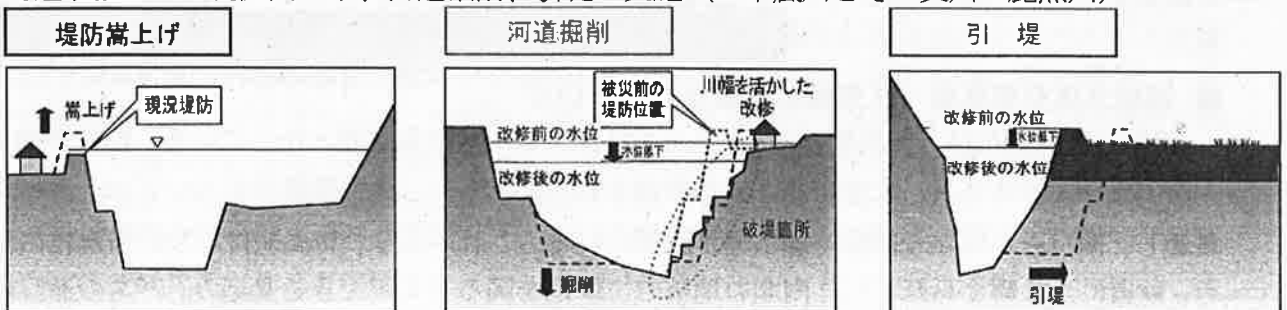
河川又は海岸の被害が激甚であり、原形復旧を行う災害復旧工事のみでは十分な効果が期待できない場合に、災害復旧事業費に改良復旧事業費を加えて、一定の計画のもとに施行する改良工事。河川の場合、被災流量や下流の整備状況等を勘案し、整備の目標となる計画高流量を定め、その流量に適した川幅・堤防高・河床高の河道を整備する。

事業期間は災害発生年から4か年であるが、助成工事費が30億円以上の大規模なものは5か年までとなっている。

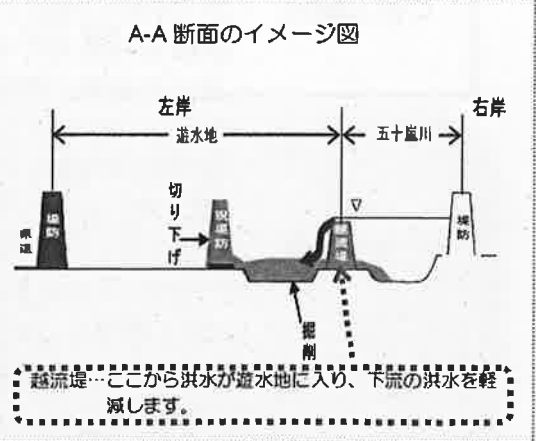
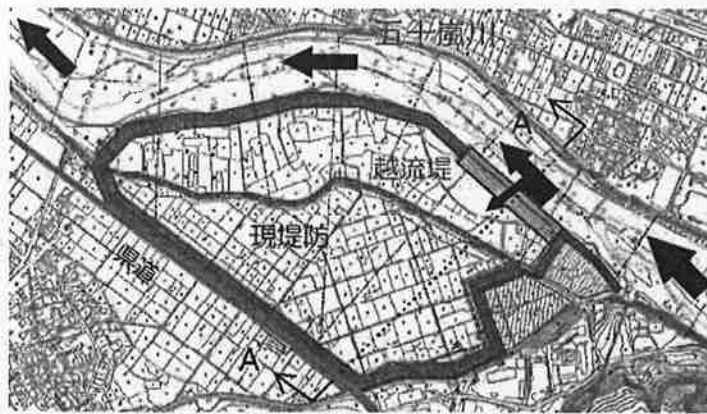
右図：国土交通省HPより



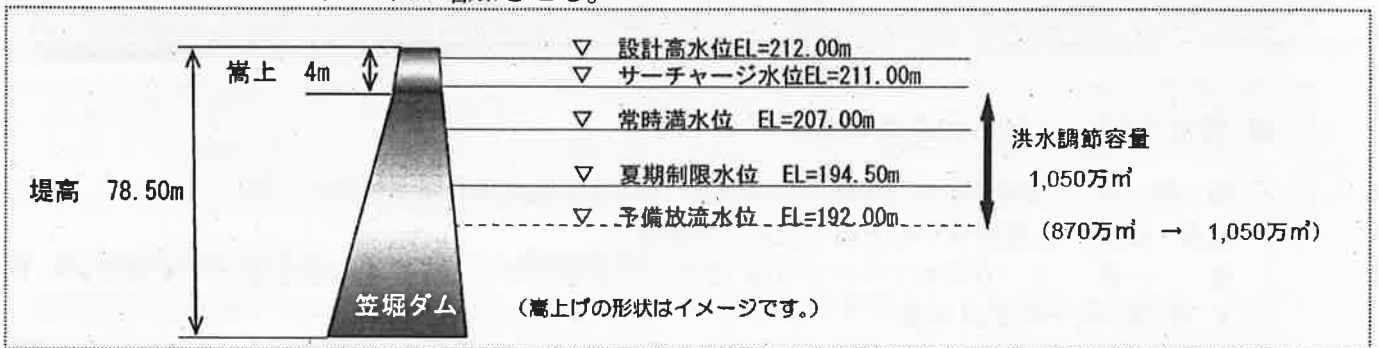
### ① 河道改修・・・堤防嵩上げ、河道掘削、引堤の実施（五十嵐川とその支川の鹿熊川）



- ② 遊水地設置・・・五十嵐川下流部（三条市月岡地内）に洪水調節を行うための遊水地を設置。  
 （洪水調節容量：約190万立方メートル、面積：約40ヘクタール）



- ③ 笠堀ダム嵩上げ・・・笠堀ダムを約4メートル嵩上げし、洪水調節容量を約2割、180万立方メートル増加させる。



上図全て：三条地域振興局地域整備部作成・事業広報誌より（一部加工）

③ <sup>ばんないがわ</sup>万内川砂防えん堤群（妙高市）

- 〔視察テーマ〕 ○登録有形文化財「<sup>ばんないがわ</sup>万内川砂防えん堤群と<sup>ひかげさわとこがためこうぐん</sup>日影沢床固工群」の保存・活用について  
 ○万内川砂防公園ファン倶楽部の活動について  
 ○現地視察

■ 万内川砂防えん堤群と日影沢床固工群

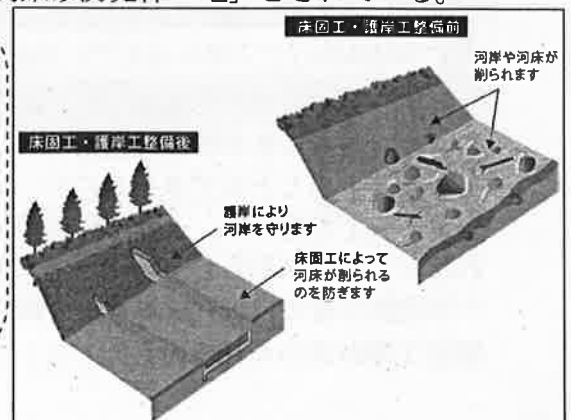
明治35年5月、<sup>あわだちやま</sup>粟立山の大崩壊による土砂災害が発生し、妙高市西野谷地区とその下流域を守るため、砂防えん堤を設置することとなった。大正5年ごろから調査が始まり、大正10年には万内川一号砂防えん堤の工事に着手した。全部で18基の砂防えん堤が造られている。平成15年に登録有形文化財に登録された11基については、現地産の石を使用して造られた石積えん堤である。万内川の支流の日影沢には、わずか1.2キロメートルの溪流に47基の石積床固工が設置されており、こちらも平成15年に登録有形文化財に登録された。

県下初の砂防事業に着手されたことから、万内川は「新潟県砂防発祥の地」とされている。

【<sup>とこがため</sup>床固（工）群】

河川に床固工や護岸工が連続して設置されている構造物で、川の流れを安定させるための砂防施設。

床固群は、床固工や護岸工により川底の勾配の変化を緩くして川底や河岸が削られるのを防ぎ、砂防がたまらないように水の流れる速度を調節し、安全に流れるようになる。



右図：国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所HPより

■ 万内川砂防公園ファン倶楽部について (万内川砂防公園ファン倶楽部ブログHPより)

○設立 平成18年6月17日

- 設立趣旨
- ・ 歴史的砂防施設と周囲の豊かな自然環境を生かした「万内川砂防公園」の環境保全を図るとともに、多くの人々への利用拡大に向けた活動を行う。
  - ・ 先人の知恵と苦勞を後世に語り継ぎ、治山・治水思想と防災教育を普及していく。
  - ・ 歴史的砂防施設を核として地域の農業や観光資源などを有機的に結びつけた地域活性化に寄与することを目指す。

- 主な活動
- (1) 万内川及び日影沢登録有形文化財や自然環境の保全活動
  - (2) 万内川及び日影沢登録有形文化財や自然環境の活用・啓発を図る活動
  - (3) 砂防事業の大切さの啓発、土砂災害の防災教育の普及活動
  - (4) 農業、観光を基盤とした地場産業おこし、地域活性化の調査・研究
  - (5) 地域住民、NPO団体、民間企業、行政等との連携によるさまざまなイベント活動

③ 国道253号上越三和道路 (上越市)

- [視察テーマ] ○国道253号上越三和道路事業の概要及び進捗状況について  
○現地視察

■ 国道253号 上越三和道路事業

路線名 : 国道 253 号 (地域高規格道路 上越魚沼地域振興快速道路の一部)

起点・終点 : 上越市寺から上越市三和区本郷まで

延長 : 7.0 キロメートル (寺 IC ランプ 0.4 キロメートルを合わせると 7.4 キロメートル)

工事着手 : 平成 14 年度

全体事業費 : 約 7 0 4 億円 (平成 29 年度事業費 31 億円、平成 30 年度事業費 25 億 6,000 万円)



上図 : 上越地域振興局作成・三和安塚道路パンフレットより (一部加工)

14市町村が合併して誕生した上越市には、東西に国道8号、南北に国道18号上新バイパスが整備されている。2本の幹線道路により、合併後のほとんどの区から上越市街地(旧上越市)へ30分で到着することができるものの、安塚区、浦川原区、大島区の3区からは、現状では30分で到着することが難しい。上越三和道路及び三和安塚道路(上越魚沼地域振興快速道路)が整備されれば、この3区からも上越市街地に30分で到着することが可能となる見込み。

平成30年度には、上越市寺から鶴町間(延長3.0キロメートル)の開通が予定され、橋梁工事、舗装工事が進められている。

建設公安委員会 県内行政視察日程表

月 日	発着時刻	発着地・視察先	備 考
4月18日 (水)	10:00 (発)	議会庁舎	[参集場所] 議会庁舎正面
	10:10 (着) 10:27 (発)	白山駅着 白山駅発	高架化の様子をより深く理解するため 越後線に乗車のうえ駅へ向かいます
	10:32 (着)	● 新潟駅（新潟駅周辺整備事務所） ○ 新潟駅高架駅第一期開業について ○ 現地視察	【視察先住所】 新潟市中央区花園1-1-1  【窓口連絡先】 新潟市議会事務局 新潟市中央区学校町通1-602-1 TEL 025-226-3385 FAX 025-223-5566
	11:25 (発)		
	12:00 (着) 12:45 (発)	【昼食】 燕三条ワシントンホテル銀座	燕市井土巻3-65 TEL 0256-33-2000 FAX 0256-63-2000
	13:00 (着)	● 三条地域振興局地域整備部 ○ 五十嵐川災害復旧助成事業の竣工について ○ 現地視察（遊水地）	三条地域振興局地域整備部 災害復旧課 TEL 0256-36-2220 FAX 0256-36-2290
	14:00 (発)		
	15:50 (着)	● 万内川砂防えん堤群 ○ 登録有形文化財「万内川砂防えん堤群と日影 沢床固工群」の保存・活用について ○ 万内川砂防公園ファン倶楽部の活動について ○ 現地視察	【視察先住所】 妙高市西野谷 万内川砂防公園  【窓口連絡先】 上越地域振興局 妙高砂防事務所 妙高市美守1-4-5 TEL 0255-72-4141 FAX 0255-72-4303
	16:45 (発)		
17:15 (着)	【宿舎】 アートホテル上越	上越市本町5-1-11 TEL 025-524-0100 FAX 025-526-5633	
4月19日 (木)	8:30 (発)	【宿舎】	
	8:40 (着)	● 国道253号 上越三和道路 ○ 国道253号上越三和道路事業の概要及び進捗状 況について ○ 現地視察	【窓口連絡先】 国土交通省 北陸地方整備局 高田河川国道事務所 工務第二課 上越市南新町3-56 TEL 025-521-4535 FAX 025-524-5265
	9:50 (発)		
	11:45 (着)	議会庁舎	解 散